

## 2019年度（第8期）事業報告書

自 2019年4月 1日  
至 2020年3月31日

公益社団法人 日本オーケストラ連盟



## 1. 交響楽に関する調査研究及び資料、情報の収集

(1) 「日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑 2019」を刊行した。

文化庁委託事業「令和元年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として、3,000冊刊行。音楽関連機関、専門家等に配布したほか、全国の主たる図書館、大学、公立文化施設などに配布し、併せて連盟ホームページでも公開した。

(2) 各種レポートを発行した。

収集した資料、情報をオケ連ニュース等で公開し、オーケストラの発展に努めた。

(3) ステージスタッフ会議、ライブラリアン会議を開催した。

① ステージスタッフ会議 8月13日(火) アクロス福岡 福岡シンフォニーホール  
14日(水) 末永文化センター(九響練習所)

- ・海外公演の報告
- ・ホールの空調について
- ・人材育成について(ステージスタッフ)
- ・練習時のオルガンの対応について
- ・整体専門家による、ステージスタッフの身体ケアについて

② ライブラリアン会議 11月11日(月) 読売日本交響楽団練習所

- ・楽譜における課題について(楽譜出版社 KALMUS について等)
- ・人材育成について(ライブラリアン)
- ・楽譜代理店との質疑応答

(4) 基礎資料作成の調査・検討を実施した。

① 2019年度の加盟オーケストラの実績を調査し、活動実績を分かりやすくまとめ、ホームページ等で公表した。

② 「子供のためのオーケストラ検証」プロジェクトを実施。(長崎県内2校、埼玉県内1校) 広島交響楽団、札幌交響楽団が行った音楽鑑賞教室で、アンケート調査を新たに実施した。児童の生の声を数値化した他、インターネットを利用した年齢別のサンプルを収集、併せて報告書にまとめた。

## 2. 交響楽振興のための公演及び講習会等の開催

(1) 「オーケストラの日 2020」のイベントは中止または延期となった。

オーケストラの普及、浸透を図るため3月31日を「オーケストラの日」として、この日を中心にその前後で加盟するオーケストラが多彩な催しを行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止または延期となり、2019年度の実施は出来なかった。

(2) 文化庁からの委託による「アジア オーケストラ ウィーク 2019」を制作した。

18回目となるこの年度は、香港シンフォニエッタ(香港)、ジャカルタ・シティ・フィルハーモ

ニック（インドネシア）の2楽団を招聘した。日本のホスト・オーケストラはオーケストラ・アンサンブル金沢が務めた。この事業により個性豊かな3か国の演奏の競演が実現し、3か国の文化交流の促進に寄与することができた。

<会場：けんしん郡山文化センター（福島県）>

10月4日（金）オーケストラ・アンサンブル金沢 & 香港シンフォニエッタによる合同演奏会

\*10月3日に白河市／白河コミネスで合同演奏のリハーサルを一部公開で実施。午前中には香港シンフォニエッタの楽員によるアウトリーチを白河第一小学校で行った。

<会場：東京オペラシティコンサートホール>

10月5日（土）オーケストラ・アンサンブル金沢（日本）

共演／香港シンフォニエッタ（1曲）

10月6日（日）香港シンフォニエッタ（香港）

10月7日（月）ジャカルタ・シティ・フィルハーモニック（インドネシア）

入場者数：

福島 公演 4日 869名

（3日白河公開リハーサル 500名）

東京 公演 5日 1,175名

6日 995名

7日 944名

総入場者数 3,983名

（3日を含めると 4,483名）

(3) 国際交流基金アジアセンター主催「響きあうアジア 2019 ガラコンサート」を実施した。

オーケストラ支援事業の5年間の集大成として、7月1日にアジアセンターが主催する、「響きあうアジア 2019 ガラコンサート」の制作、招聘業務を担当した。

7月1日（月）午後7時開演 会場／東京芸術劇場

指揮：小林研一郎 司会：朝岡 聡 賛助出演：小林研一郎となかまたち

アセアン参加楽団：インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、ミャンマーの5か国から8楽団、82名の楽員が参加した。

(4) オーケストラ連盟30周年記念事業の準備

2020年に創立30周年を迎える連盟の記念事業について検討した。

(5) 講習会セミナー等の開催

国際交流基金が5か年間実施した、「アセアン・オーケストラ支援事業」の成果を検証するために開かれた、シンポジウム開催に協力した。

日 時：6月1日（土）午後2時 国際交流基金「さくらホール」

登壇者：王立バンコク交響楽団、ホーチミン市交響楽団、マニラ交響楽団

日本からの派遣楽員（コントラバス、クラリネット、ファゴット）

#### (6) インターンシップの推進

連盟が窓口となり、音楽大学、一般大学のアートマネジメントに関心のある学生を公募し、受け入れ可能な加盟オーケストラで研修を実施した。

応募人数／14名の内12名が参加。受け入れオーケストラ9楽団

実施期間／8月から11月の間に1名あたり1～2週間程度の研修を実施。

#### (7) その他の活動

##### ①日本音楽芸術マネジメント学会へ参加した

音楽芸術の振興や保護に係わるマネジメントや教育、政策に関する研究の推進のため参加した。

##### ②アフィニス文化財団が開催する「アフィニス夏の音楽祭」に協力した。

8月20日（火）～25日（日） 長岡リリックホール、アオーレ長岡（新潟県／長岡市）

参加者による室内楽を中心にリハーサルの公開、演奏会を実施。

### 3. 青少年に対する交響楽の普及

#### (1) 「東日本大震災」、「平成28年熊本地震」、「平成30年7月西日本豪雨」復興支援

##### ①5月12日（日）市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市）午後3時開演

出演者：指揮／下野竜也 ソプラノ／高橋絵理 メゾソプラノ／八木寿子

テノール／城 宏憲 バス／青山貴

管弦楽／九州交響楽団を中心にした日本オーケストラ連盟加盟楽団、九州・

熊本在住の演奏家

合唱／九州在住の有志で編成（総勢169名）

演奏曲目：ヴェルディ作曲 レクイエム

主催：第3回熊本地震復興祈念コンサート実行委員会、くまもと音楽復興支援100人委員会

協力：（公財）九州交響楽団、（公社）日本オーケストラ連盟、熊本県合唱連盟

後援：熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊日、NHK熊本放送

局、RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791

##### ②8月1日（木）、2日（金）愛媛県内（西予市、大洲市、宇和島市）大阪交響楽団による室内楽演奏会

##### ③2020年2月10日（月）午後2時～5時 日本財団会議室

シンポジウム「音楽の力による心の復興とその支援体制の構築」

基調講演：奥山恵美子（前仙台市長）～音楽と心の復興を語る～

パネルディスカッション モデレーター：小松弥生（埼玉県教育長）

パネリスト：藤村順一（兵庫県立芸術文化センター副館長）

- : 大澤隆夫 (公益財団法人音楽の力による復興センター・東北 代表理事)
- : 坂本一生 (くまもと音楽復興支援 100 人委員会 代表)
- : 吉井實行 (公益社団法人日本オーケストラ連盟 専務理事)
- : 奥山恵美子 (前仙台市長)

(2) 東京都が主催する「子供たちと芸術家の出会う街」の制作に協力した

2020 年 2 月 11 日 (火祝) 東京芸術劇場

企画・演奏 : 新日本フィルハーモニー交響楽団

事前アウトリーチ 参加人数 : 1,250 名

当日ワークショップ 参加人数 : 1,015 名

オーケストラ演奏会 参加人数 : 1,692 名

#### 4. 交響楽に関する国際交流

(1) 海外のオーケストラ連盟等との交流と情報交換

①「アジア オーケストラ ウィーク」に招聘した香港シンフォニエッタ、ジャカルタ・シティ・フィルハーモニックと現地での打ち合わせを行い、音楽関係者と情報交換等を実施した。

6 月 17 日 ~ 6 月 23 日 ジャカルタ市 (インドネシア)、香港

②2019 年 7 月 1 日「響きあうアジア・ガラコンサート」に参加した、ジャカルタ、バンコク、マニラ、ホーチミン、ハノイ、ミャンマーの各オーケストラと情報交換を実施した。

#### 5. その他目的を達成するために必要な事業

(1)「日本オーケストラ連盟ニュース」を発行した。 年 3 回

オーケストラに関する特集記事、音楽界のトピックスや各種情報などを伝えるほか、加盟するオーケストラの主催公演を一覧表示。コンサートガイドの役割も果たし、単なる機関紙としてではなく調査、資料収集等で得られた知見、情報も掲載した。

7 月第 102 号、12 月第 103 号、3 月第 104 号 発行部数 各 9,000 部

(2)「日本のオーケストラ」を 2020 年 3 月に発行。

加盟オーケストラ全体の収支構造等を分かりやすく表現したパンフレットを制作した。

(3) 政府、国会への働きかけ

①実演芸術団体の理念に沿った自主的な活動を助成する助成制度に改革する活動を文化芸術推進フォーラムの一員として行った。

②超党派の「文化芸術振興議員連盟」が実施した勉強会、総会等に参加し、意見を述べた。

③新公益法人制度について公益法人協会等関係団体と協力し、「収支相償の原則」等一部改正を求める活動を実施した。

④税制改正の要望を関係団体と協力し行った。

(4) 他の実演芸術団体等との連携を深め、関係機関に働きかけた。

芸術家会議、日本芸能実演家団体協議会（芸団協）、文化芸術推進フォーラムの一員として他の芸術団体や「劇場・音楽堂等協議会」などとも連携を図り、健全な文化芸術活動やオーケストラ運営ができる環境整備と充実に努めた。

(5) その他

実演芸術の価値と魅力をより多彩に発信されるよう、新聞、放送などをはじめとする各種マスメディアの活用を努めた。また、クラシック音楽に関する基礎的な質問に対応し、普及に努めた。

## 6. その他の事業（相互扶助等事業）

(1) 著作権代行事業

一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）との協定による、加盟オーケストラの使用する管理著作物の包括的申請と使用料の一括徴収と支払業務を実施した。

(2) 共同広告事業

この年度は実施しなかった。

(3) 互助会事業

病気や怪我で3ヶ月以上活動できない、連盟加盟の楽団に所属する楽員・職員への無利息による貸付制度。この制度の利用を促すパンフレットを作成、配布した。

## 会議の開催

○理事会 2019年度 計3回

第1回 5月28日（火）（東京）機械振興会館

第2回 2月18日（火）（決議の省略による）

第3回 3月26日（木）（東京）機械振興会館

○総会 2019年度 計3回

臨時総会 4月15日（月）（決議の省略による）

定時総会 6月12日（水）（東京）機械振興会館

臨時総会 3月13日（金）（決議の省略による）

○運営委員会 第214回 ～ 第221回 計8回

4月15日（月）、7月18日（木）、9月27日（金）、10月24日（木）、11月25日（月）、12月19日（木）、1月28日（火）（\*運営委員会及び首都圏連絡会合同会議）、2月25日（火）

運営委員（13名）：

佐藤 隆文 理事長

金山 茂人	副理事長
西濱 秀樹	専務理事
吉井 實行	専務理事
桑原 浩	常務理事・事務局長
草田 博	広島交響楽団 専務理事
市川 雅敏	札幌交響楽団 事務局長
工藤 真実	東京フィルハーモニー交響楽団 常務理事・事務局長
櫻井 龍一	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 専務理事
小川 則之	東京都交響楽団 パトロネージュ担当
中濱 正晃	京都市交響楽団 シニアマネージャー
二宮 光由	大阪交響楽団 楽団長・インテンダント
山本 雅士	セントラル愛知交響楽団 音楽主幹

○地方オーケストラ連絡会／首都圏オーケストラ連絡会「合同会議」 計1回

8月22日(木)、23日(金) (新潟県／長岡市) 長岡商工会議所ビル会議室

○首都圏オーケストラ連絡会 第415回～第423回 計9回

4月22日(月)、5月20日(月)、7月10日(水)、9月18日(水)、10月18日(金)、  
11月19日(火)、12月16日(月)、1月28日(火)(\*運営委員会及び首都圏連絡会合同会議)、  
2月21日(金)

○地方オーケストラ連絡会 計1回

8月22日(木) 長岡(合同会議の前に開催)

○首都圏「オーケストラの日」実行委員会 計6回

9月25日(水)、10月23日(水)、11月28日(木)、1月23日(木)、  
2月25日(火)、3月17日(火)

○「子どものためのオーケストラ検証」プロジェクト委員会の開催 計2回

4月10日(水)、7月23日(火)

### 外部の委員会・協議会等への協力

- 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(以下、「芸団協」)の監事として金山茂人／副理事長、理事として桑原浩／常務理事・事務局長が参加した。
- 公益社団法人日本演奏連盟常任理事として吉井實行／専務理事が参加した。
- 芸術家会議の常任幹事として桑原 浩／常務理事・事務局長が参加した。
- 芸団協「実演芸術振興委員会」委員として桑原浩／常務理事・事務局長が参加した。



- 公益財団法人公益法人協会評議員として吉井實行／専務理事が参加した。
- 「文化芸術推進フォーラム」運営委員として桑原浩／常務理事・事務局長が参加した。
- 公益財団法人アフィニス文化財団の理事として桑原浩／常務理事・事務局長が参加した。
- 「日本管打楽器コンクール」運営副委員長として吉井實行／専務理事が参加した。
- 演奏家権利処理合同機構（MPN）の「クラシック委員会」委員として工藤真実／東京フィルハーモニー交響楽団常務理事・事務局長、吉井實行／専務理事が参加した。
- 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会「クラシック・コンサート・マネジメント」に関する調査研究委員として桑原浩／常務理事・事務局長が参加した。
- アジア・太平洋地域オーケストラ連盟の事務局長を名倉真紀／マネジャーが務めた。

### 関係団体との連携、協力

芸団協、芸術家会議、文化芸術推進フォーラム、日本音楽芸術マネジメント学会、公益財団法人公益法人協会の会員、構成団体として参加している。

## 庶務の概要

### 1. 会員に関する事項

正会員	準会員	賛助会員	名誉会員
25	12	法人 11 個人 0	0

### 2. 会長及び役員に関する事項

役名	氏名	現職
会長	児玉 幸治	一般財団法人 機械システム振興協会 顧問
理事長	佐藤 隆文	元・金融庁 長官
副理事長	金山 茂人	公益社団法人 日本演奏連盟 専務理事
専務理事	西濱 秀樹	山形交響楽団 専務理事
	吉井 實行	日本オーケストラ連盟 常勤役員兼職員
常務理事	桑原 浩	日本オーケストラ連盟 事務局長
理事	中野 浩二	トヨタ自動車株式会社 社会貢献推進部 プログラム推進室長
	西村 朗	作曲家
	松尾 康二	NPO 法人 音楽は平和を運ぶ 理事長
	宮脇 匠	公益財団法人 アフィニス文化財団 事務局長
	吉村 融	政策研究大学院大学 名誉学長
	市川 雅敏	札幌交響楽団 事務局長
	草田 博	広島交響楽団 専務理事
	工藤 真実	東京フィルハーモニー交響楽団 常務理事・事務局長
	国塩 哲紀	東京都交響楽団 芸術主幹
	櫻井 龍一	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 専務理事
	中濱 正晃	京都市交響楽団 シニアマネージャー
	二宮 光由	大阪交響楽団 楽団長・インテンダント
山本 雅士	セントラル愛知交響楽団 音楽主幹	
監事	千葉 和彦	公認会計士
	箱田 英子	弁護士
顧問	岡山 尚幹	元・常務理事
	田邊 稔	元・副理事長
参与	加納 民夫	元・理事・事務局長

2020年3月31日現在

## 2019 年度 事業報告の附属明細書

2019 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。



130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラル棟 7階